

「ホワイトスペース特区」 先行モデルの決定について

「ホワイトスペース特区」先行モデルについて

● 「新たな電波の活用ビジョンに関する検討チーム」では、「**ホワイトスペース特区**」を創設し、ホワイトスペースを活用したサービスやシステムの研究開発や実証実験を行い、制度化への反映やビジネス展開の促進につなげていくことを提言。

※ 「ホワイトスペース特区」の先行モデルについては、ホワイトスペースの活用方策等に関する提案募集の提案者から選出し、公開ヒアリングを経て決定。

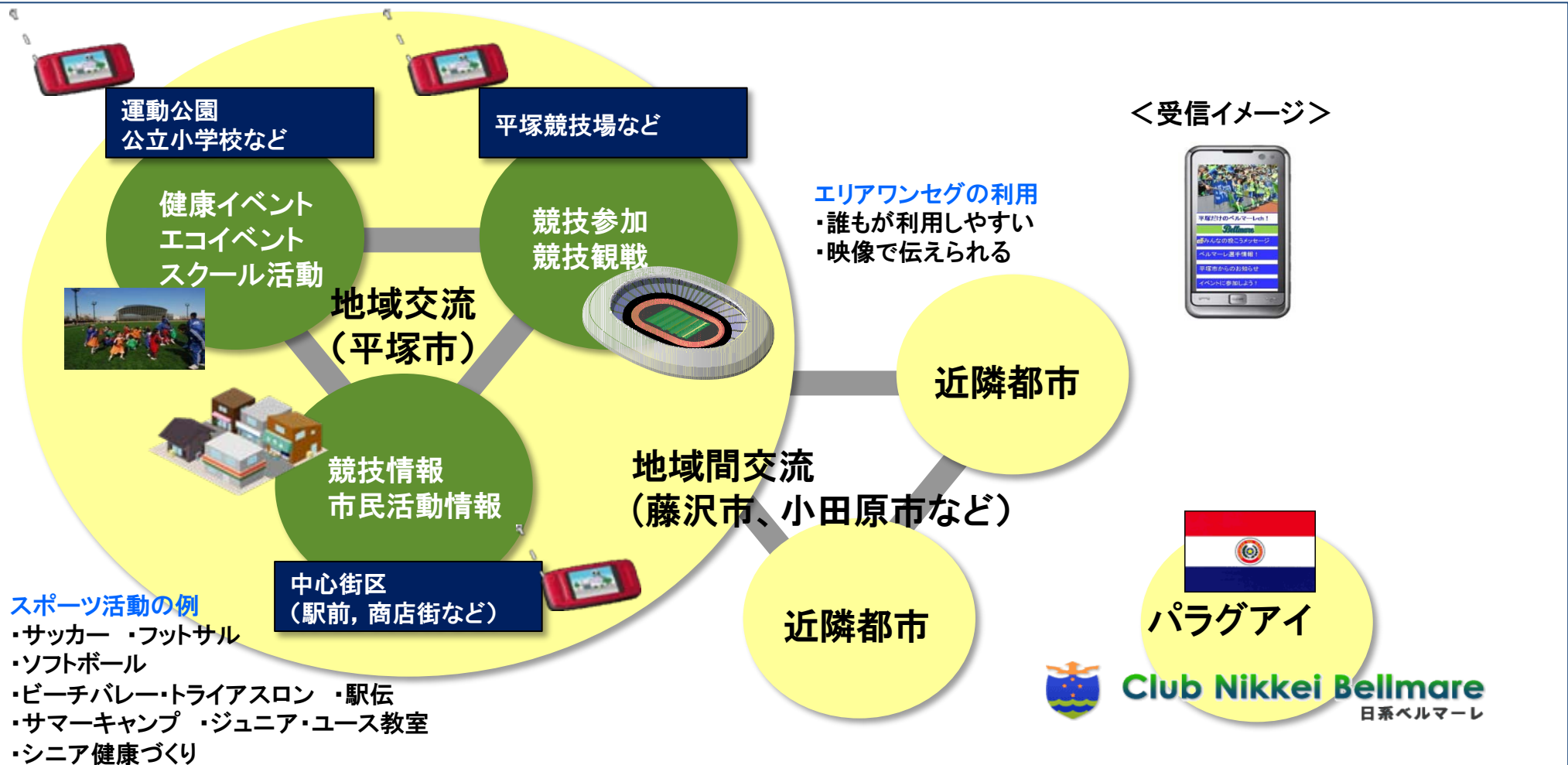
| 先行モデル対象者 | 実施内容 | 場所 |
|------------------|----------------------|-----------------------|
| 株式会社 湘南ベルマーレ | ワンセグによるスポーツ映像等の配信 | 神奈川県平塚市(平塚競技場、商店街等) |
| 株式会社 TBSテレビ | 赤坂サカス放送プロジェクト | 赤坂サカス(東京都港区) |
| 株式会社 トマデジ | ICT-Transport連携サービス | 鹿児島中央駅及び周辺観光地 |
| 日本空港ビルディング株式会社 | 空港連携ワンセグ・サービス | 羽田空港 |
| 株式会社 デジタルメディアプロ | 地下空間におけるマルチメディア放送局 | 東京メトロ・東急 表参道～二子玉川 等 |
| 兵庫県地域メディア実験協議会 | エリアワンセグを活用した地域限定放送局 | 神戸市長田区 |
| 宮城県栗原市 | エリアワンセグによる災害情報等の配信 | 栗原市(市役所、公民館等) |
| YRP研究開発推進協会 | エリアワンセグによる地域情報等の配信 | 神奈川県横須賀市(YRP地域) |
| 社団法人 日本ケーブルテレビ連盟 | CATV網を活用した地域ワンセグ放送 | 愛媛県新居浜市((株)ハートネットワーク) |
| 日本放送協会 | スーパーハイビジョンの実験 | 世田谷区砧(NHK放送技術研究所) |
| | エリアワンセグを活用した被災地情報の配信 | 名古屋市付近 |

【(株)湘南ベルマーレ】スポーツ交流を活かした地域活性化のための情報サービス

概要

スポーツ交流を活かした情報サービスの提供をエリアワンセグ等により実現し、地域活性化を目指す。

サービスイメージ図



概要

「赤坂サカスプロジェクト」と題して、赤坂の商店街など地域ぐるみの情報配信を行うことにより、地域の創富力を高め、モデルの全国展開を目指す。

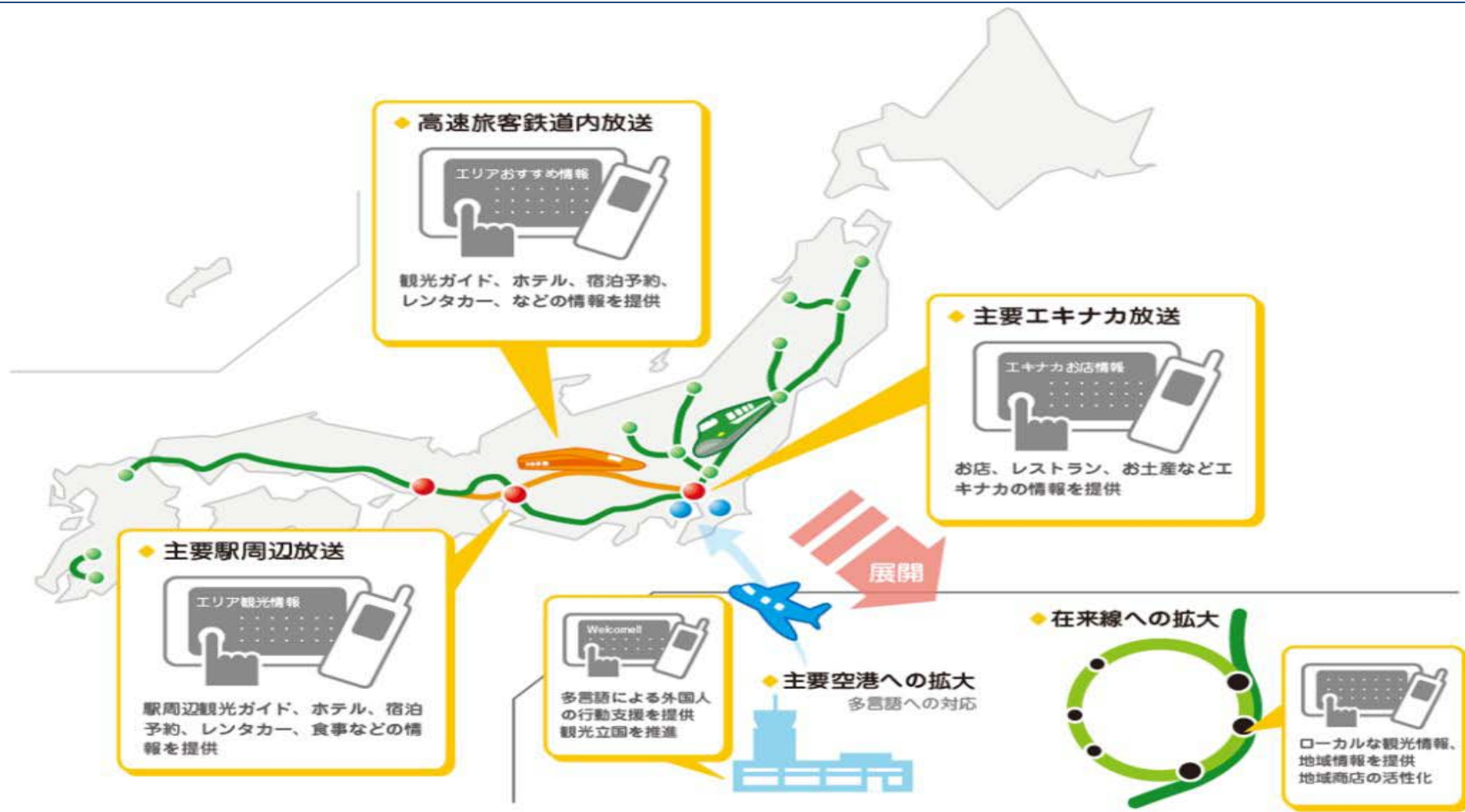
サービスイメージ図



概要

日本全国に張り巡らされる放送網と交通網(鉄道網)を連携させ、駅ナカ情報や地域情報を配信するICT-Transport連携サービスを実現し、国内・国外の観光立国を推進する。

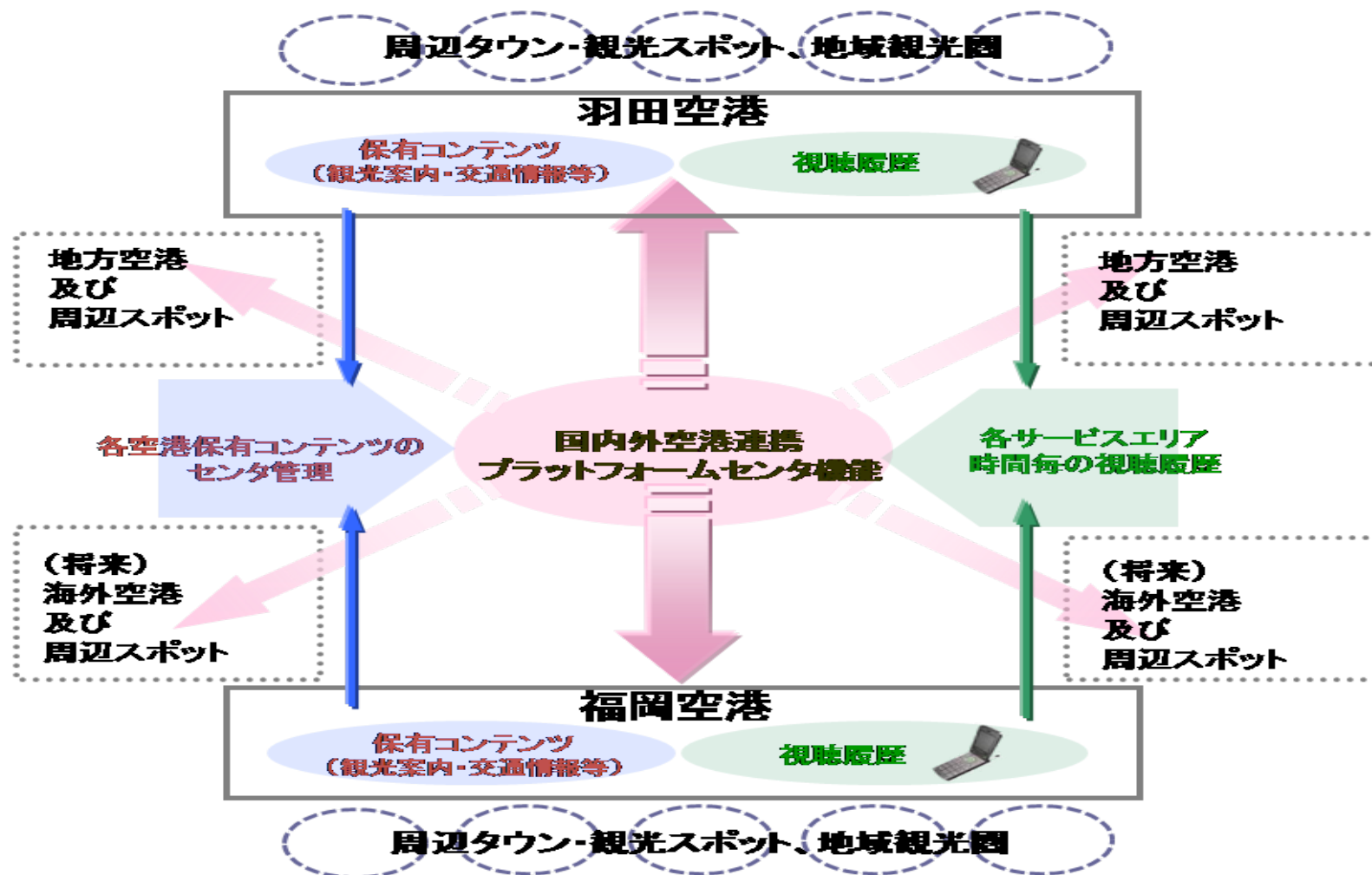
サービスイメージ図



概要

空港においてエリアワンセグにより目的地の情報や特産品情報、e-commerceなどを提供する空港連携ワンセグ・サービスを実現し、空港と周辺地域の活性化を目指す。

サービスイメージ図



【(株)デジタルメディアプロ】ホワイトスペースを活用した地下空間放送局構想

概要

ホワイトスペースを活用して地下空間で様々な情報を配信し、地下空間における情報格差、特に災害時、緊急時においても情報伝達障壁をなくし、快適な地下空間を創造する地下空間放送局構想を実現。

サービスイメージ図

構想イメージ図

copyright (C) DigitalMediaPro.Co.,Ltd. All rights reserved.

我が国の地下鉄・地下街におけるオリジナルコンテンツをもった放送局構想

オリジナルコンテンツをもった放送局開局には公共性や安全性そして事業性が必要

公共性

※地下鉄／地下街にいても、地上にいる場合と同じ情報を共有

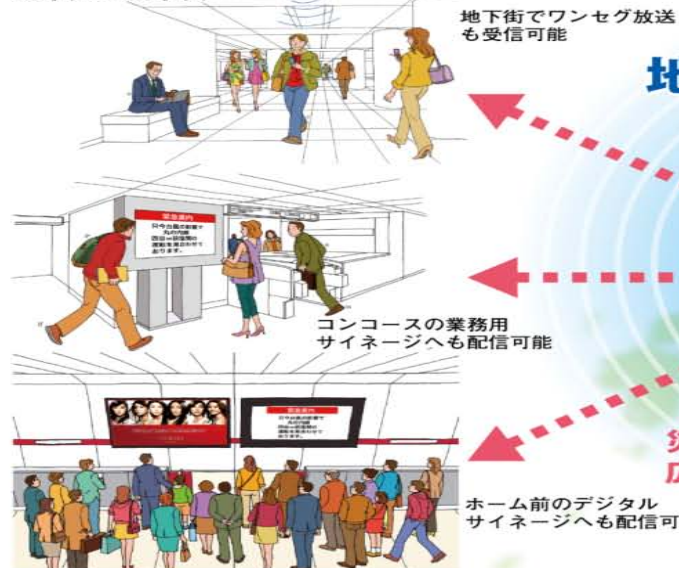
安全性

※災害時の緊急情報伝達手段や運行情報としての活用

事業性

※運行情報等の業務情報／生活に役立つ広告等各種コンテンツ放送、NEWビジネスフロンティアetc…。

地下鉄&地下街



地下空間放送局構想



放送局

災害時の緊急情報/運行情報や
広告/各種コンテンツの放送

携帯やPCへ動画や
静止画も配信可能



車内TVで緊急情報も
ダイレクトに伝達!



概要

エリアワンセグを活用して、地域に密着した情報を提供する限定放送局を創設し、地域活性化に寄与していくことを目指す。

サービスイメージ図

兵庫県の強み

情報コンテンツの地産地消



まちかどカメラマン
住民ディレクター

葉子博撮影ボランティア
参加者 79人、投稿数 230件
期間中の閲覧数 11,400件



地域SNS登録者数
約9,000人
1日あたり 11万PV

地域SNS
(動画配信可能)



エリア限定
ワンセグ放送

放送と通信の連携

めざすべき方向性

地域市民メディアとしての
ホワイトスペースへの期待

ツーリズムでの活用

○グリーンツーリズム、エコツーリズムの
セルフガイド機能として活用

コミュニティでの活用

○コミュニティ独自の情報発信が可能
遮蔽物が少ない農山漁村、
見通しのきく商店街では特に有効

イベントでの活用

○県内各地のイベントなどで活用

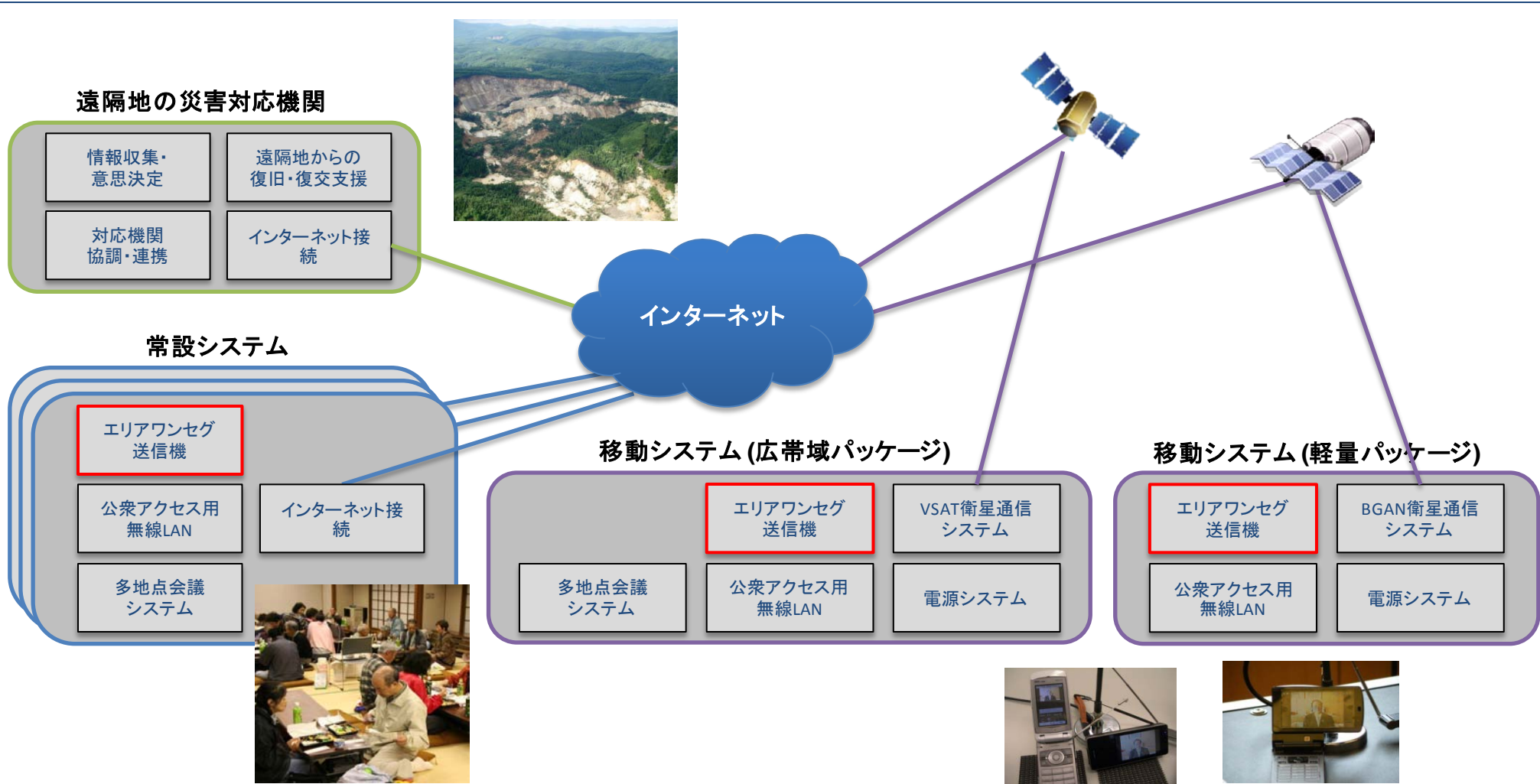
広報手段としての活用

○地域SNSと連携した
デジタルサイネージでの情報発信
観光案内所などにサイネージ端末を設置し、
地域間交流を促進
サイネージ端末で広域的な情報を周知し、
現場はエリア限定ワンセグで対応

概要

災害時においてエリアワンセグにより災害情報や地域情報を配信し、災害時における早期情報手段の確保や被災地の安心・安全の確保に寄与していくことを目指す。

サービスイメージ図



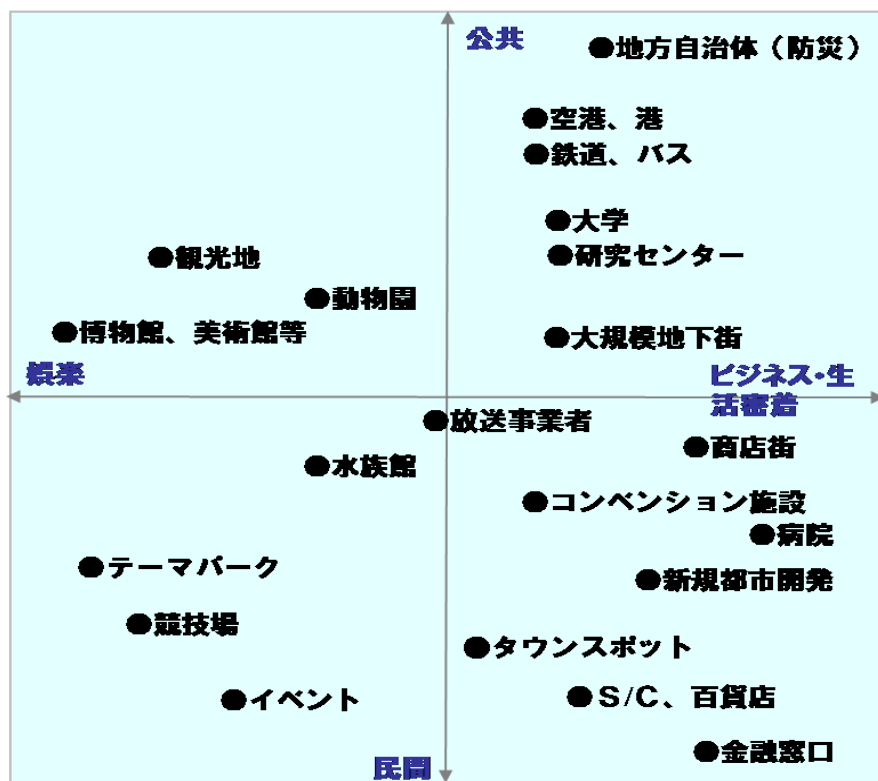
概要

エリアワンセグによる地域メディアの活用により、地域サービス、コミュニティ活動の活性化、雇用創出の実現が期待される。

YRP研究開発推進協会では、放送・通信事業者、メーカー、システム事業者、制作事業者、研究機関など約40団体が集まり、エリアワンセグ放送の実用化に向けて検討しており、これまでの実証活動や情報発信主体者との議論を通じ、地方自治体、交通事業者、大学、タウンスポット、博物館、イベント事業者、テーマパーク事業者、会議場運営事業者、放送事業者等からエリアワンセグの活用打診、実証依頼が寄せられているところ。

サービスイメージ図

(コンテンツや主体者での分類)



3

屋内や屋外の特定エリアにおける配信例



屋内:

10m平方の小部屋から、200m平方規模の展示会場まで。商業施設、駅・空港など、複雑な内部構造を持った空間もある。

屋外:

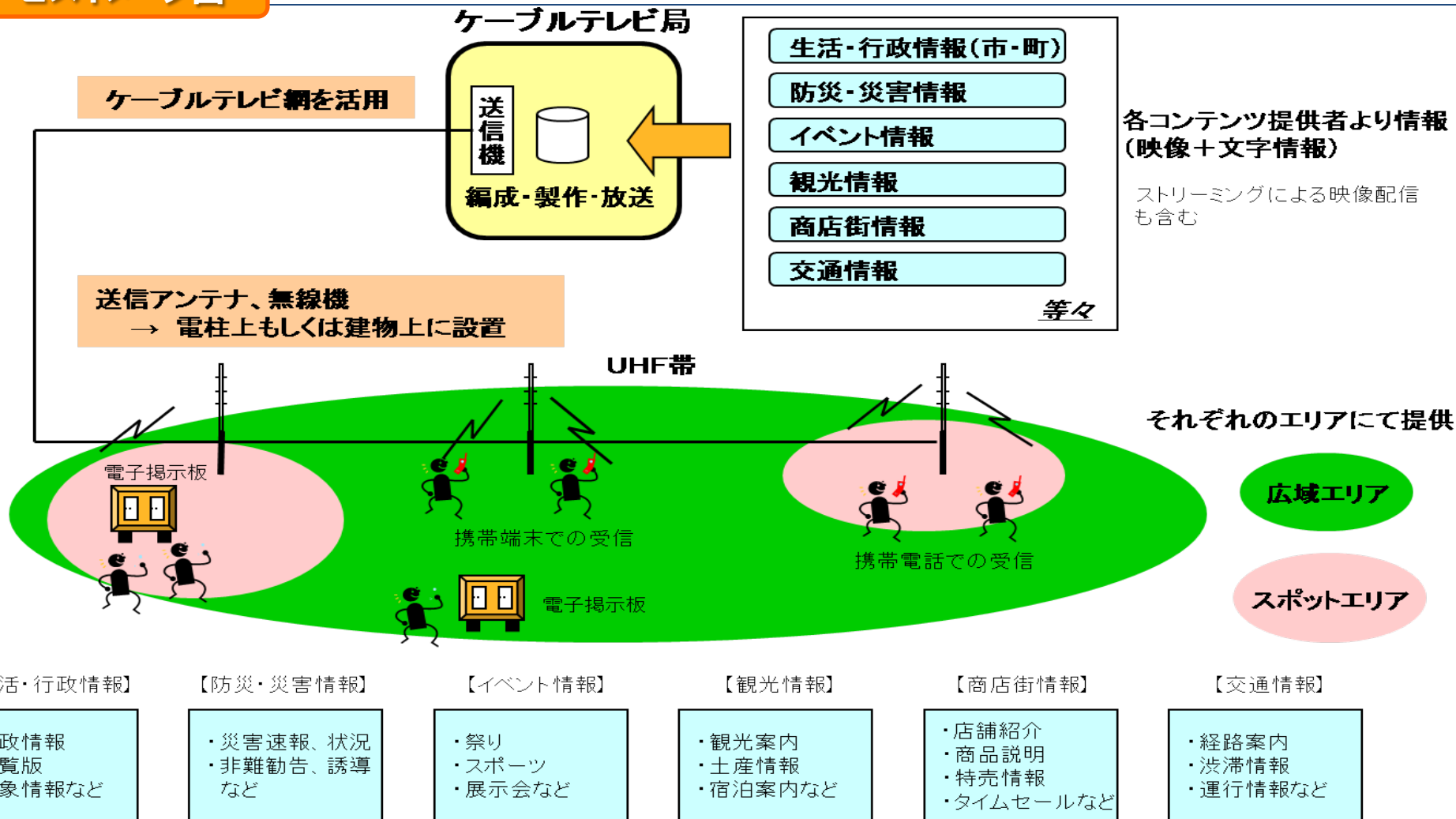
スポーツ競技場や公園のような管理された空間、市街地のような一般的な開空間まで。

【(社)日本ケーブルテレビ連盟】地域経済活性化に向けたCATV網を活用した地域ワンセグ放送

概要

地域に密着したケーブルテレビ網を活用し、携帯電話等を主な受信端末としたUHF帯における地域ワンセグ放送の仕組みを用いた無線サービスを導入する。広域エリアとスポットエリアなど、エリア分けによる発信情報の区分けを行い、地域に特化した情報を発信し、地域の活性化や地域住民の福祉向上を目指す。

サービスイメージ図



概要

提案1: スーパーハイビジョンの公開実験

UHF帯(13ch~52ch)のうちの任意の2つのチャンネルを利用(計12MHzを利用)し、120Mbps程度に圧縮したスーパーハイビジョンの実験を実施し、新たな放送サービスによる産業振興を目指す。

提案2: 被災地におけるエリア限定ワンセグの活用実験

UHF帯のうちの1つのチャンネル(6MHz)を利用し、被災地において安否情報や生活情報などのきめ細かな災害関連情報を提供できるようなエリア限定のワンセグによる実験を実施し、高臨場感のサービス実現による国民の安心・安全への寄与を目指す。

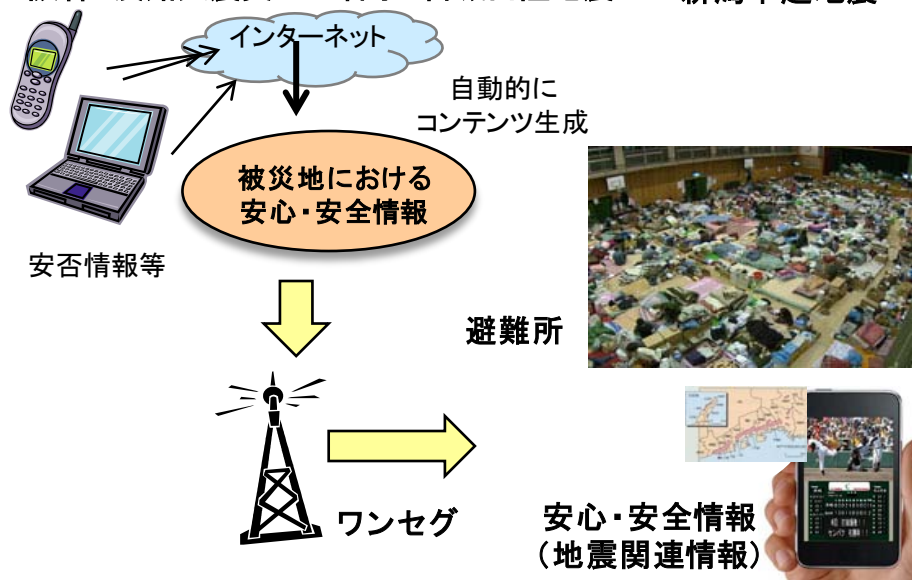
サービスイメージ図



阪神・淡路大震災

岩手・宮城内陸地震

新潟中越地震



スーパーハイビジョン・シアター



スーパーハイビジョン・パブリックビューイング

⇒ 緊急時には災害情報等を提供

